

北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成27年7月2日

(2) 調査対象期間 平成27年4月～6月期実績および平成27年7月～9月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	23社	76.7%
建設業	30社	27社	90.0%
卸売業	30社	26社	86.7%
小売業	35社	24社	68.6%
サービス業	25社	17社	68.0%
合計	150社	117社	78.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成27年度第I四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」18.8%、「悪化企業」37.6%、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△18.8となっています。このD・I値を、前年同期（△18.4）と比較してみると0.4ポイントの悪化傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△21.7、建設業D・I値△3.7、卸売業D・I値△3.8、小売業D・I値△41.6、サービス業D・I値△29.5となっており、前年同期調査と比較すると、卸売業で27.0ポイント改善傾向が見られる一方、製造業で0.9ポイント、建設業が3.7ポイント、小売業で10.8ポイント、サービス業で23.4ポイント悪化となり、卸売業以外は悪化傾向を表す結果となりました。

また、前期調査<26年度第IV四半期>との比較では、前回△29.6→今回△18.8と10.8ポイントの好転傾向を示しました。

さらに、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」15.5%「悪化企業」31.9%でD・I値△16.4と、前年同期見通し（△20.2）に比べ3.8ポイント好転となり、予断は許さないもののわずかながら回復傾向が見えつつある来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」13.0%、「減少企業」34.8%、D・I値△21.8と前年同期に比べ13.5ポイントの悪化となりました。

採 算

前年比で「好転企業」13.1%、「悪化企業」39.1%、D・I値△26.0と、前年同期に比べ19.3ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△17.3、生産高D・I値△8.6、資金繰りD・I値△17.3と、前年同期と比較し生産高は横ばいですが、他は若干悪化傾向を示す結果となりました。

2) 建 設 業

完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」22.2%、「減少企業」37.0%、D・I値△14.8と、前年同期と比べ25.8ポイントの悪化となりました。

採 算

前年比で「好転企業」22.2%、「悪化企業」33.3%、D・I値△11.1と、前年同期に比べ11.1ポイントの悪化を示しています。

来期見通し

業況D・I値△18.5、完成工事高D・I値△22.2、資金繰りD・I値△3.7と、前年同期に比べ業況は横ばいですが、他は若干好転傾向を示す結果となりました。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」38.5%、「減少企業」34.6%、D・I値3.9と、前年同期と比べ38.5ポイントの大幅な好転となりました。

採算

前期比で「好転企業」30.8%、「悪化企業」26.9%、D・I値3.9と前年同期に比べ38.5ポイントと大幅な好転となりました。

来期見通し

業況D・I値△12.0、売上高D・I値△12.0、資金繰りD・I値△4.0と、前年同期と比べ全てが大幅な好転傾向を示す結果となりました。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」12.5%「減少企業」50.0%、D・I値△37.5と、前年同期に比べ18.3ポイントの悪化を示しました。

採算

前年比で「好転企業」13.1%「悪化企業」47.8%、D・I値△34.7と、前年同期に比べ7.7ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△16.7、売上高D・I値△16.7、資金繰りD・I値△26.0と、前年同期と比べ資金繰りは横ばいですが、他は若干好転傾向を示す結果となりました。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」11.8%、「減少企業」29.4%、D・I値△17.6と、前年同期に比べ7.4ポイントの好転を示しました。

採算

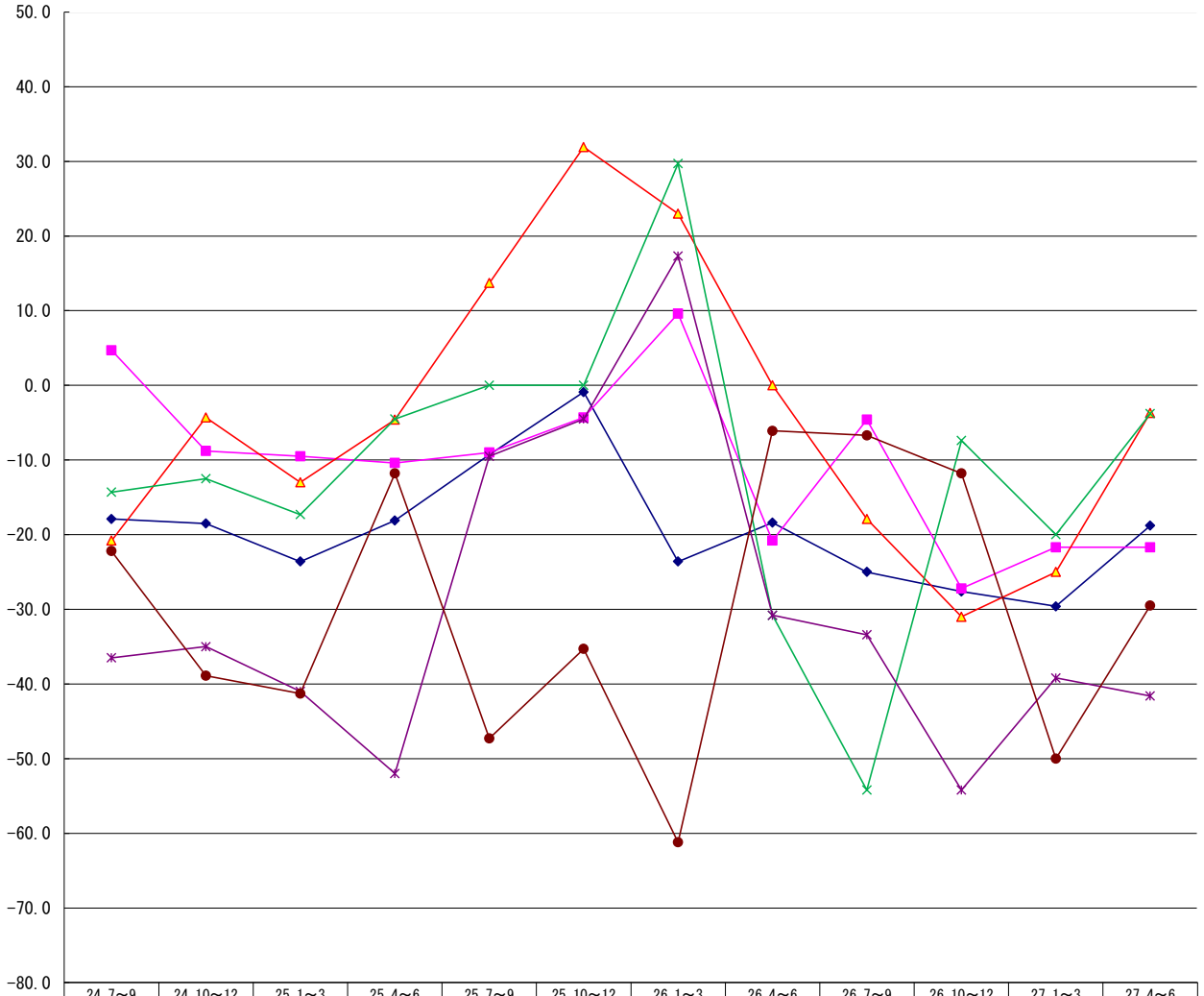
前年比で「好転企業」5.8%、「悪化企業」47.1%、D・I値△41.3と、前年同期に比べ16.3ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△17.6、売上高D・I値△17.6、資金繰りD・I値△5.8と、前年同期に比べ、業況はほぼ横ばいですが、売上と特に資金繰りは大幅に好転傾向を示す結果となりました。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 × 卸売業
 ✱ 小売業
 ● サービス業



	24.7~9 24年度Ⅱ	24.10~12 24年度Ⅲ	25.1~3 24年度Ⅳ	25.4~6 25年度Ⅰ	25.7~9 25年度Ⅱ	25.10~12 25年度Ⅲ	26.1~3 25年度Ⅳ	26.4~6 26年度Ⅰ	26.7~9 26年度Ⅱ	26.10~12 26年度Ⅲ	27.1~3 26年度Ⅳ	27.4~6 27年度Ⅰ
◆ 全業種	-17.9	-18.5	-23.6	-18.1	-9.3	-0.9	-23.6	-18.4	-25.0	-27.6	-29.6	-18.8
■ 製造業	4.7	-8.8	-9.5	-10.4	-9.0	-4.3	9.6	-20.8	-4.6	-27.2	-21.7	-21.7
▲ 建設業	-20.8	-4.3	-13.0	-4.6	13.7	31.9	23.0	0.0	-17.9	-31.0	-25.0	-3.7
× 卸売業	-14.3	-12.5	-17.3	-4.5	0.0	0.0	29.7	-30.8	-54.2	-7.4	-20.0	-3.8
✱ 小売業	-36.5	-35.0	-41.0	-52.0	-9.5	-4.5	17.3	-30.8	-33.4	-54.2	-39.2	-41.6
● サービス業	-22.2	-38.9	-41.3	-11.8	-47.3	-35.3	-61.2	-6.1	-6.7	-11.8	-50.0	-29.5

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	同業者間の競合	人 件 費 増
建 設 業	人 材 不 足	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 件 費 増
卸 売 業	人 材 不 足	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	資金調達困難
サービス業	諸 経 費 増	人 件 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足	得 意 先 減 少
合 計	諸 経 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○ 前年同期と比較すると、3位が「得意先減少」となり、4位には「同業者間の競合」という変化があった。

一方で、業種別で見ると、卸売業で前年5位だった「人材不足」が1位となり、「得意先減少」が3業種で1・2位になるなどの変化がみられる。また、「諸経費増」が全部の業種で3位以上となっており、消費税増税による影響で引き続き諸経費の圧迫が伺える。

※その他及び具体的な問題点の記載事項 (※は重複回答)

(製造) ○情報収集不足 (製麺)

○合理化 (製麺)

(建設) ○若手の技術者不足 (建築、電気設備工事、土木・給排水) ※

○公共投資減少 (土木・建築)

○現場作業員の高齢化 (電気設備工事)

(卸売) ○小売店の減少(米穀)

○海外工賃の高騰 (作業服)

○商品管理 (POSレジシステムの導入検討) (作業服)

○職人の高齢化 (塗料)

○社会保障改革で医療費抑制が厳しさが増し、今後の改訂でさらに影響が予想される (医療・介護福祉機器)

○市場の縮小 (種苗)

(小売) ○顧客情報の収集とコミュニケーション (眼鏡)

(サービス) ○原材料値上がり (そば)

※消費増税の影響について

※重複回答

- (製造) ○増税分の負担に対して利益が出ない (建設用金属製品)
- (建設) ○10%になる時に影響が大きいと予想する (塗装)
○反動が非常に大きい。全道的に動きが鈍い (板金)
○得意先減少 (土木・給排水)
- (卸売) ○節約傾向が強まる (米穀)
○大手との競合で一律転嫁が難しい (医療・介護福祉機器)
- (小売) ○影響はあるが創意工夫が大事 (眼鏡)

業況

(太字アンダーラインは複数事業所が回答)

- 製造業 ⇒ 好転 (菓子、一般機械)
悪化 (製材、石材、農業機械、建設用金属機械、ブロック)
- 建設業 ⇒ 好転 (土木・とび、管・土木、土木・給排水)
悪化 (土木・建築、土木、建築設計)
- 卸売業 ⇒ 好転 (作業服、業務用食品、製材、製菓原材料機器、米穀、塗料、玩具、種苗、
建築金物)
悪化 (鉄鋼、食品、家電、建築資材、紙管用口金、鋼材、石油)
- 小売業 ⇒ 好転 (家電)
悪化 (菓子、酒、衣料 (婦人、紳士)、家具、時計貴金属、靴、米、生鮮、スーパー)
- サービス業 ⇒ 好転 (理美容、飲食)
悪化 (ホテル、理容、自動車リース、建物清掃、クリーニング、IT)